

質疑応答書(教育総合データベース構築・運用設計業務) ※ この質疑応答書は、プロポーザル方式業者選定説明書の追補とみなす。業者は質問の有無にかかわらず全文を読みたい。

No	資料	項目	質疑	回答
1	-	-	今回の開発支援は、弊社から再委託、再々委託まで可能でしょうか。	可能ですが、再委託・再々委託等の契約前に事前に届出、本市からの承認を受けてください。
2	-	-	今回、ご提案にあたりベトナムのリソースを活用したオフショア体制を検討しておりますが、何かオフショア体制や外国籍の方についての制約事項はございますでしょうか？（コミュニケーションや管理は日本人メンバーが立つ前提となります）	個人情報の取り扱いが発生すると思われまますので、リンク先の「保有個人情報等の取扱いに関する特約条項」を契約書に盛り込む予定ですので、それを遵守いただくことが前提となります。 https://www.city.toda.saitama.jp/uploaded/attachment/71269.pdf これを遵守できることについて確認いただけるようにご提案いただければと思います。
3	-	-	ご支援が始まった際にオンサイトの対応や訪問の機会が頻繁には発生する可能性はございますでしょうか。	必要に応じて発生する可能性はありますが、ウェブ会議で事足りるようなもの、例えば定例の打ち合わせなどについては、オンラインでご対応いただくイメージです。他方で、キックオフ時の顔合わせやブレインストーミング的な会議などの際にはオンサイト対応が必要となってくる場合があるかと思えます
4	02_プロポーザル方式業者選定説明書	16 関連資料	関連資料（戸田市教育政策シンクタンク第7回アドバイザーボード資料.pdf）より、現行教育総合データベースのワークフローとして、データ前処理（ID 突合など）として、各データソースからのデータを RPA を活用しながら CSV に出力し、突合・付与/各校のデータ結合/データ変換/データエラーチェック などの業務を行っている」と記載がありましたが、業務の詳細と、現時点で課題となっている点をご回答いただけますでしょうか。	<p>現行システムにおけるデータ前処理の業務詳細と課題について、以下のとおり回答いたします。</p> <p>【現行のデータフローと業務】 現行の教育総合データベースでは、以下のデータソースから CSV 等でデータを取得し、名寄せして ID を付番してから BigQuery にロードしています。これらのデータを突合・結合する際、学齢簿に付番されている ID（宛名番号）をメインキーとして使用しています。</p> <p>【課題 1：ユニーク ID の問題】 宛名番号をメインキーとしていますが、以下の理由により課題があると認識しています。 タイムラグ：転入生の場合、校務支援システムへの登録が先行し、学齢簿（宛名番号）の発行が後追いとなる。学齢簿が先行するのは就学时（小学校入学時）のみ。 名寄せの困難さ：学齢簿と校務支援システムの間共通 ID がなく、現状は 生年月日+ふりがなで名寄せしている。表記ゆれがあると突合できない。 即時性の欠如：宛名番号との突合が必要なため、データの即時反映ができていない。</p> <p>【課題 2：表記ゆれの発生】 複数のシステム間で同一人物の表記が一致しないケース（ミドルネーム・外字・ふりがなゆれ）が頻発</p> <p>【課題 3：データの流れ】 転入生の場合、学校が転出元から聞き取って校務支援システムに先に入力する 学齢簿は転入届受理後に編纂されるため、校務支援システムとの間にタイムラグが発生する 学齢簿は就学事務（小学校入学まで）が主な役割であり、その後の学籍管理は学校が担う構造となっている</p> <p>【課題 4：業務フローの問題】 各名簿の更新・相互修正のルールが明確でなく、不整合が残存する可能性がある 手作業・スプレッドシートによる処理が多く、担当者依存となっている 校務支援システムと Google アカウントアカウントの同期が手入力のスプレッドシートと担当者間の電話連絡で行われている</p> <p>【本システムに期待すること】 上記の課題を踏まえ、以下の観点での提案を期待します。 ID 統合戦略：複数システム間で統一的に利用できるユニーク ID の設計（マッピングテーブル、ゴールデンレコードの考え方等）。宛名番号は市長部局側のデータとの突合に必要なので、データとして整備しておく必要はありますが、メインキーとして用いる方針は変更する必要があると考えています。</p>

No	資料	項目	質疑	回答
				リアルタイム性の向上：学齢簿の発行を待たずにデータ活用を開始できる仕組み 運用負荷の軽減：手作業の自動化、エラー検知・通知の仕組み
5	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	1.1.3 データ連 携・分析基盤 データパイプ ライン (ETL)	仕様書「II-1.1.3 データ連携・分析基盤」における新規発生データの取り込み (ETL) につきまして、アンケート結果やテスト結果など多様な非構造化データのクレンジングには多大な工数を要することが想定されます。つきましては、すべてのデータを一律に自動連携・クレンジングするのではなく、データの重要度や活用頻度を見極めた上で、システム化 (自動化) の対象範囲を協議により決定するという進め方は許容されますでしょうか。	許容されます。 すべてのデータを一律に自動連携・クレンジングするのではなく、データの重要度・活用頻度・更新頻度等を踏まえ、システム化 (自動化) の対象範囲を協議により決定する進め方で問題ありません。 またデータクレンジングについては現在市教委がローカル環境にて処理したうえでアップロードしていますので、これをクラウド上で実施できる環境・仕組みを構築していただき、各データのクリーニングの実コーディングについては、データ構造についてアドバイスをいただきながら市教委側で担当するという分担も考えられます。
6	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.2 情報セキュ リティ要件	「戸田市情報セキュリティポリシー」及び文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」、文部科学省「教育データの利活用に関する留意事項」を遵守すること」と記載がありますが、それぞれで相反するポリシーがある場合、どのドキュメントのポリシーを優先すべきといった方針がありましたらご教示ください。	基本的には仕様書の記載を優先してください。 相反するポリシーがある場合は、個別に本市と協議の上決定いたします。
7	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.2 情報セキュ リティ要件	戸田市情報セキュリティ基本方針において従来型の「重要な情報はインターネットから切り離す」が定義されている一方、仕様書は「パブリッククラウド」を指定となっております。今回は仕様書を優先する理解でよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。 本業務においてはパブリッククラウド (Google Cloud 等) の利用を前提としており、仕様書の記載を優先してください。
8	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.2 情報セキュ リティ要件	戸田市情報セキュリティ基本方針において、サーバの設置場所 (管理区域) における「物理的な入退室管理」や「電源対策」など、オンプレミス (自庁設置) を想定した記述がありますが、この点はパブリッククラウド前提となっておりますので除外したいと考えております。ご承認をお願いいたします。	承認いたします。 オンプレミス (自庁設置) を想定した「物理的な入退室管理」「電源対策」等の記述については、パブリッククラウド利用を前提として、Google Cloud のデータセンターにおける同等の管理体制 (SOC2、ISO27001 等の認証取得状況) をもって代替するものとします。
9	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.2 情報セキュ リティ要件	"文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」7.1. 情報システムの監視の項によれば、ネットワーク監視等により情報システムの稼働状況について常時監視を行うことが要求されていますが、仕様書には監視に関する記載がないものの、この項に沿って監視を行うべきという理解で良いでしょうか。"	ご理解のとおりです。 仕様書に監視に関する明示的な記載はありませんが、文部科学省ガイドラインに準拠し、システムの稼働状況についての監視を行うことを想定しています。 監視の具体的な方法・範囲・頻度・市教委側との役割分担については、提案の中でお示しいたいただき、協議の上決定いたします。
10	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.5 クラウドサ ービス要件	クラウドサービス要件について、クラウドサービス利用料は委託費の中で負担する原則であることを理解しておりますが、特に GoogleCloud の利用料は従量課金制となっておりますので、順当な利用状況で大幅な利用料金の増大が見込まれる場合、もしくは大幅な為替レートの変動による請求金額の増大が見込まれる場合に、委託費とは別途請求とする協議をさせていただくことは可能でしょうか。	前提として、提案段階では想定される利用量に基づく見積りをお示しください。 想定された金額の範囲内で運用していただき、想定額よりも大幅に超えることが見込まれる場合には、パフォーマンスを落とすなどして対応をしていただくことを想定します。

No	資料	項目	質疑	回答
11	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.7 移行要件	<p>現行システムに蓄積されたデータの移行については「移行の可否・対象範囲・移行方式を本市と協議の上決定すること」と記載されております。</p> <p>これに関しまして、コスト抑制およびデータ鮮度確保の観点から、物理的なデータの「移行（エクスポート・インポート）」を行うのではなく、新システム（新 GCP プロジェクト）から現行システム（既存 GCP プロジェクト）のデータセットに対し、サービスアカウントを用いて直接参照（クエリ実行）を行う方式を採用することは可能でしょうか。</p> <p>具体的には、以下の前提での運用が可能かご教示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現行の GCP プロジェクトに対し、新システム用のサービスアカウントへの「BigQuery データ閲覧権限」等の付与を許可いただけること。 2. 上記方式を採用することで、「移行」にかかる工数を削減し、その分をデータ活用や UI 改善等の「機能提案」に充当する方針が許容されること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行 GCP プロジェクトに対する新システム用サービスアカウントへの権限付与等は許可します。 ・移行時に直接参照することは許容します。一方で、データ構造に課題を抱えていると認識しており、メンテナンスの複雑性も考慮すると、最終的には、データ構造に手を入れたうえで新環境下化でデータを管理したいと考えております。 ・また、現行プロジェクトについては令和 8 年度中に閉じる方向性で検討しております。 ・上記を前提として工数の配分をご検討ください。
12	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	2.8 教育	<p>各研修、特に利用者向け研修については、Google Meets もしくは Google Classroom などの利用を前提とした、リモート形式で行うことは許容されますでしょうか。</p> <p>また、「各学校へ個別に説明に行く」などの手厚い対応を想定すると工数が膨大になるため、合同説明会や AI での説明動画など省力化し、その分システム開発の予算を活用する形でご提案は可能でしょうか？</p>	<p>許容されます。</p> <p>Google Meet 等を利用したリモート形式での実施、合同説明会形式、動画コンテンツの活用等による省力化を許容します。</p>
13	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	1 端末・ライ センス等について	<p>現状、全教職員（市教委職員含む）と全児童生徒に Google Workspace for Education plus を提供しているとのことですが、契約・組織・グループ管理状況をご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>Google Workspace for Education Plus のライセンスを、児童生徒と教職員・市教委職員をカバーできる数量で購入しており今後数年間は新規の調達は不要です。組織・グループ管理の情報については事業者決定後に詳細を提供する予定です。可能であれば理想的な組織・グループ管理とそれに応じたシステムをご提案ください。なお、現在は一部で動的グループを適用しておりますが、手動でのプロビジョニングが主となります。</p>
14	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	3 契約不適合責 任期間	<p>契約不適合責任期間について、「契約不適合を知った時から 1 年間、受託者は無償で是正処置を実施すること。」とありますが、納品時から 1 年間に変更いただくことは可能でしょうか。</p>	<p>こちらについては変更不可とお考えください。</p>
15	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	監視要件	<p>障害監視の要件は仕様書に記載はありませんが、外形監視をお見積りに含める形でよろしいでしょうか？</p>	<p>お見積りに含めていただいて構いませんが、障害監視については基本的に死活監視を想定し、外形監視については想定しておりませんでした。</p>
16	02_プロポー ザル方式業者 選定説明書	12 無効又は失 格の基準等	<p>⑤「提出された提案書に不備があった場合、訂正を求めることなく、関係する評価項目の得点を与えません。ただし、ペナルティ項目については減点として計算します。」とございますが、「ペナルティ項目」に該当する具体的な評価項目、あるいは判断基準の例を教えてくださいませんか。</p>	<p>本調達ではペナルティ項目はございません。</p>
17	03_評価項目 一覧	採点方法	<p>各項目の評点は「1 点単位」での採点となりますでしょうか。あるいは小数点の付与等はございますでしょうか。</p>	<p>1 点単位での採点となります。小数点の付与はございません。</p>

No	資料	項目	質疑	回答
18	03_評価項目一覧	1 全体設計・技術提案 09 UI/UX ユーザビリティ	UIの使いやすさ・直感性とありますが、想定されている操作感や、参考にされている既存システム・他社サービス等がございましたら教えていただけますでしょうか。	特定のシステムを参考として指定するものではありません。 仕様書「2.4 ユーザビリティ・アクセシビリティ要件」に記載のとおり、多忙な教職員が直感的に操作できる画面設計を求めています。 提案においては、貴社の考える UI/UX の設計方針や、類似システムでの実績等をお示しください。
19	-	-	本システムでの利用を想定されている、貴市で整備済みの端末機種および OS を教えていただけますでしょうか。	OS については、仕様書の末尾に記載しております。端末は、dynabook V83/KV となります。
20	04_教育総合データベース構築・運用設計業務仕様書	1.1.2 児童生徒 CRM システム	現在、顔写真データはデジタルデータとして保有されていますでしょうか。保有されている場合、格納されているシステムやファイル形式を教えてくださいいただけますでしょうか。	校務支援システムに一部の学校で登録されているケースがありますが、すべての学校において悉皆的に登録されているわけではありませんので、既存システムからの転送を前提とお考えいただく必要はありません。なお、CRM の活用場面を考えた時に、写真があると議論がしやすくなるのではないかと考え、仕様に記載しておりますが、必須要件というよりも任意要件としてお考え下さい。
21	04_教育総合データベース構築・運用設計業務仕様書	III 作業の体制および方法	要件定義工程等における、貴市側の意思決定プロセス（承認フロー）を教えてくださいいただけますでしょうか。また、仕様決定に関する最終的な承認者は事業担当者様となるか、確認させていただきますと幸いです。	最終的な承認者は、原則として教育政策室担当課長になります。ただし、要件定義の詳細の確認については、教育政策室の担当者が行います。
22	04_教育総合データベース構築・運用設計業務仕様書	III 作業の体制および方法	円滑にプロジェクトを進めるべく、各学校様への実際のヒアリングや受入試験の調整、連絡など貴市にご支援・ご協力を仰ぐことは可能でしょうか。	可能です。本市にて支援・協力いたします。 各学校へのヒアリング調整、受入試験の日程調整、学校との連絡等については、本市が窓口となり対応いたします。
23	04_教育総合データベース構築・運用設計業務仕様書	2.3 信頼性等要件	・ Google Cloud の SLA に準拠することと記載がございます。 AppSheet や Looker Studio のパフォーマンスにつきまして、これらのサービスは Google のマネージドサービスである特性上、稼働の維持については保証されておりますが、個別の「性能要件」に関する保証（SLA）は対象外となっております。実際の動作速度等は、データ量やネットワーク環境に依存する側面があるため、弊社としても特定の数値を確約することが難しい状況でございます。 上記は、製品仕様として許容頂くことは可能となりますでしょうか。	仕様書「2.3 信頼性等要件」における「Google Cloud の SLA に準拠すること」との記載は、可用性（サービス稼働率）に関する SLA を指すものであり、個別の性能要件（応答時間等）に関する保証を求める趣旨ではございません。AppSheet や Looker Studio において、パフォーマンスに関する SLA が提供されていないことは、Google Cloud の製品仕様として理解しており、以下の条件のもと許容いたします。 ・ 仕様書「2.1 規模要件・性能要件」に記載の性能値は「目標値」として取り扱うこと ・ 提案書において、目標値達成に向けた設計上の工夫（データマート設計、キャッシュ活用等）を具体的に示すこと ・ 運用開始後、著しい性能劣化が継続的に発生した場合の改善対応について、協議に応じること 上記の趣旨をご理解いただき、ご提案をお願いいたします。
24	-	Looker Studio での可視化イメージについて	BigQuery でのデータ基盤構築を進めるにあたり、Looker Studio で「どのような気付きを得たいか」について、改めてご教示頂けますと幸いです。具体的なグラフの形が決まっていなくても構いません。例えば、以下のような「普段の業務で解決したい疑問」をお聞かせください。 ・「毎日〇〇の数字をチェックする手間を減らしたい」 ・「××のデータと△△のデータを組み合わせ、相関関係が見たい」 ・「異常値（急激な変化）があった際に、すぐに気づけるようにしたい」 こうした「現場での課題感」を伺えますと、それを解決するための最適なダッシュボード構成をご提案させていただきます。	児童単位、学級単位、学年単位、学校単位、市全体というよう各単位で、現在の状況と過去との比較を行うことや、他のデータの結果と並べて観察することのハードルを下げるのが基本的なコンセプトです。データベース導入以前は、そのようなデータ活用をするためにはそれぞれ個別のデータのエクセルを探して、個票を紐づけるというところから始める必要がありました。 ダッシュボードのイメージとしては、複数のデータソースからの情報がまとまっているページ（グラフ化に向かないものは表で表示される）が上述したような単位で存在し、当該ページを入り口として詳細情報までアクセスできるイメージです。 また、ダッシュボードの意義として、一つの分析軸で整理された同じものを皆で見ることによって、利用者間で当該データについて共通の認識を持たせることができると考えております。

No	資料	項目	質疑	回答
25	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	自律的な運用 (内製化・ロー コード)」につ いて	仕様書にある「システム管理者による継続的な運用」を実現するため、弊社ではブラックボックス化を避け、職員様ご自身で軽微な改修が可能となる「ローコード/ノーコードツール」の活用を検討しております。 これに伴い、保守フェーズにおいては、単なる維持管理だけでなく、職員様へのスキル移転（内製化支援）を含めた「伴走型支援」を提案することは、貴庁の方針に合致しますでしょうか。	合致しています。
26	04_教育総合 データベース 構築・運用設 計業務仕様書	「段階的稼働と 優先順位」につ いて	仕様書の「令和8年9月以降、順次稼働開始」および評価基準の「段階的稼働計画」につきまして、具体的な稼働順序の指定はございますでしょうか（例：〇〇課の業務を最優先とする、等）。もし特段の指定がない場合、弊社にて「効果の出やすい業務」や「現場負担の軽減」を考慮し、アジャイル開発的なアプローチで優先順位を策定・提案することは可能でしょうか。	稼働順序について、現時点で厳密な指定はございません。各サブシステムの機能で相互依存もあると思いますので、合理的な提案をいただきたいと思いますと考えます。